

開催概要 北部地域 洲原公園・岩ヶ池公園

日時：令和4（2022）年6月25日（土）
9：30～11：30

会場：刈谷市総合文化センター 5階会議室

参加者：16名

（洲原公園グループ・岩ヶ池公園グループ）

アドバイザー：名古屋市立大学名誉教授
瀬口哲夫先生



プログラム

【テーマ】

公園の“未来”をカタチに
～公園の将来ビジョンを描こう～

- 1.開会
 - 2.オリエンテーション
 - 3.グループワーク
 - 4.グループ発表
 - 5.総評/まとめ
 - 6.閉会
- (1) 前回のあらい
(2) みんなが考えた公園の将来イメージ
(1) これからの公園ビジョンを描く！
(これから公園の“ビジョン（将来像）”を提案しよう)

オリエンテーション

瀬口先生あいさつ



「誰でも使えるように」という考え方の中に、「インクルーシブ（包括的な、誰でも）」という言葉があります。複数の人や障がい者も健康者も使える施設という考えです。

「いつでも使いたい」という意見には、「雨の日こそ公園に行こう」のように、屋根のある広場に遊具があるような場所を発想して欲しいです。日常生活から出た感覚を大規模公園に持ち込んでいくのが良いと思います。

議論しながら提案のヒントが生まれてきます。それを具体的に、モノにこだわらず、コトにこだわって、議論していただきたいです。

■市民公園づくり会議スケジュール

回数	日程	テーマ
第1回（合同開催）	12月18日（土）	PARK×LIFE ～公園とともにあるライフスタイルを考える～
第2回（地域別開催）	3月26日（土）	公園の“今”を考える ～公園の「良いところ」と「惜しいところ」～
第3回（地域別開催）	4月23日（土）	公園の“未来”を考える ～公園でできたら良いと思う「もの・こと」～
第4回（地域別開催）	6月25日（土）	公園の“未来”をカタチに ～公園の将来ビジョンを描こう～
第5回（合同開催）	8月6日（土） 予定	PARK×Vision（発表会） ～5つの公園の将来ビジョンを発表する～
出張アンケート	9月予定	将来ビジョンをパネル展示し、市民アンケート調査を実施
第6回（合同開催）	10月予定	PARK×Concept ～5つの公園の構想（案）のとりまとめ～

グループワーク ○これからの公園ビジョンを描く！
グループ発表 ○《みんなで考えた公園の将来イメージ》の発表

- 「公園の将来像」や「公園の未来」について話し合いました。
- 各公園のエリアごとの「利活用イメージ」について話し合いました。
- 《みんなで考えた公園の将来イメージ》としてグループごとに発表しました。
- 各グループで考えた公園の将来イメージを一つの構想にまとめる話し合いをしました。



将来イメージの「良いところ」や改善案、新たな提案についてまとめている様子。



稲垣市長も出席されました。



洲原公園Aグループの発表です！



洲原公園Bグループの発表です！



岩ヶ池公園AB合同グループの発表です！



洲原公園 基本構想（案）

- 公園の将来像
 - 自然とともに遊んで学べる！SUHARA アウトドア・パーク
- 公園の未来
 - 1) 自然の中で遊びを創造し、人とつながり心と体の成長が促されます。
 - 2) 自然に囲まれてゆったり向き合える時間を過ごせます。
 - 3) 大学や地域とのコラボにより、楽しみながら学べる機会が得られます。

桜広場・エリア

四季の花や桜の充実を図り、広場ではイベントが楽しめるエリアです。
【イメージ】四季の花・遊歩道／広場 など

学びの森・エリア

水辺に活動拠点を配置し、豊かな自然をいかした楽しみながら学べるエリアです。
【イメージ】学びの森／活動拠点（自然体験学習施設＋カフェテラス）／サイクルステーション／アドベンチャー遊具／野鳥観察 など

岩ヶ池公園との連携

岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道でつながっています。
【イメージ】緑道／サイクルステーション など

キャンプフィールド・エリア

洲原ロッジのリニューアルやキャンプ場の機能を拡充し、体験農園や地元食材も楽しめるエリアです。
【イメージ】洲原ロッジ（宿泊施設）／キャンプ場／体験農園／体験果樹園 など

池の東西をつなぐ

泊まって遊ぶ2つのエリアをつなぐ動線です。
【イメージ】渡りたくなるような人道橋／浮橋 など

池（水面）の活用

洲原池の魅力的な水面を活用します。
【イメージ】ポート／カヌー／池を横断するジップライン など

水辺の森・エリア

豊かな自然を活用し、のんびりと過ごすことができるエリアです。
【イメージ】自然観察路／竹林さんぽ道／カキツバタ園／休憩施設／野鳥観察など

池の周遊コース

多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコースです。
【イメージ】歩きやすい舗装 など

岩ヶ池公園 基本構想（案）

- 公園の将来像
 - 自然の中でPLAY&STAY〔遊ぶ・泊まる・体験する〕
- 公園の未来
 - 1) 刈谷市の『食・遊・泊』の拠点として、全国からの来訪者をもてなします。
 - 2) 岩ヶ池周辺の自然環境を守りながら、自然の中で遊びと学びを体験しています。
 - 3) 民間との連携を強化し、にぎわいと交流の絶えない公園づくりをしています。

森の中のステイ・エリア

宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリアです。
【イメージ】グランピング／ワーケーション など

森と水の冒険・エリア

森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代が一緒に遊ぶことができるエリアです。
【イメージ】アドベンチャー遊具／木登り／ジップライン／サイクルステーション／北エントランス（洲原公園へ） など

洲原公園との連携

洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっています。
【イメージ】緑道／サイクルステーション など

池の周遊コース

岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コースです。
【イメージ】歩きやすい舗装／乗り物での周遊 など

地域の森・エリア

岩ヶ池と周辺の自然環境を『地域の森』として、市民参加の森づくりをするエリアです。
【イメージ】森の学校／地域の遊び場 など

池の南北をつなぐ

だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線です。
【イメージ】渡りたくなるような人道橋 など

ファミリー・エリア

雨の日も遊べる遊具や、池のほとりで過ごせる施設を配置し、子育て世代が楽しむことができるエリアです。
【イメージ】プレイハウス（屋内型遊具施設）／水辺のカフェテラス／林間遊具 など

交流・エリア

常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリアです。
【既存施設】セントラルプラザ／オアシスステージ／デラックストイレ／天然温泉かきつばた など

講評/まとめ

瀬口先生から講評がありました。

●愛知教育大学との連携

洲原公園のテーマに「学び」を入れて修正していただきました。
愛知教育大学との連携も進むと思います。

●住んで良い街、住みたい街 刈谷

若い人は、公園のすぐ近くに住みたい人が多くなっています。今回の計画は、将来の目標として作っていますので、みなさんの意見を反映して公園整備が進むと、将来、公園のそばに住むことができる街として、素晴らしい街になると思います。

●地域と行政が連携した管理運営

これまで、予算ありきの計画でしたが、今回の計画は逆に、計画が先になります。予算や管理運営はこれから考えます。行政に任せきりにせず、地域の方や民間にも協力してもらって管理運営すると、にぎやかな空間や面白い公園ができます。

【第5回市民公園づくり会議開催】

8月6日（土）刈谷市役所 大会議室

10：00～12：00 3地域合同開催 ～5つの公園の将来ビジョンの発表会～
※新型コロナウイルス感染状況により、日程変更の可能性があります。ご了承ください。

～魅力あふれる公園づくり構想策定～ 市民公園づくり会議通信

【作成・発行】

刈谷市 都市政策部 公園緑地課
（株）オオバ名古屋支店 まちづくり部

開催概要 中部地域 総合運動公園・亀城公園

日時：令和4（2022）年6月25日（土）

16：00～18：00

会場：刈谷市総合文化センター 4階会議室

参加者：27名

（総合運動公園グループ・亀城公園グループ）

アドバイザー：名古屋市立大学名誉教授

瀬口哲夫先生



プログラム

【テーマ】

公園の“未来”をカタチに
～公園の将来ビジョンを描こう～

- 1.開会
- 2.オリエンテーション
- 3.グループワーク
- 4.グループ発表
- 5.総評/まとめ
- 6.閉会

オリエンテーション

瀬口先生あいさつ



公園のある生活は、これから非常に大切になってきます。公園を自分の生活空間として考えて良いという時代だと思えます。

みなさんの意見のキーワードは「誰でも、いつでも」です。

「誰でも」は、障がい者、健常者、高齢者、幼児のだれもが、いつでもその場所に行って楽しめる空間にする。最近、「包括的

な」という意味で多様性を認めるということの意味する「インクルーシブ」ということが言われるようになりました。

「いつでも」は、雨でも雪でも公園に行こう、ということです。屋根のある中で、遊具で遊べる公園が今後は期待されます。

■市民公園づくり会議スケジュール

回 数	日 程	テ ー マ
第1回 (合同開催)	12月18日 (土)	PARK×LIFE ～公園とともにあるライフスタイルを考える～
第2回 (地域別開催)	3月26日 (土)	公園の“今”を考える ～公園の「良いところ」と「惜しいところ」～
第3回 (地域別開催)	4月23日 (土)	公園の“未来”を考える ～公園でできたら良いと思う「もの・こと」～
第4回 (地域別開催)	6月25日 (土)	公園の“未来”をカタチに ～公園の将来ビジョンを描こう～
第5回 (合同開催)	8月6日(土) 予定	PARK×Vision(発表会) ～5つの公園の将来ビジョンを発表する～
出張 アンケート	9月予定	将来ビジョンをパネル展示し、市民アンケート調査を実施
第6回 (合同開催)	10月予定	PARK×Concept ～5つの公園の構想(案)のとりまとめ～

グループワーク ○これからの公園ビジョンを描く！
グループ発表 ○《みんなで考えた公園の将来イメージ》の発表

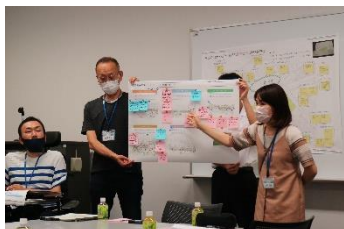
- 「公園の将来像」や「公園の未来」について話し合いました。
- 各公園のエリアごとの「利活用イメージ」について話し合いました。
- 《みんなで考えた公園の将来イメージ》としてグループごとに発表しました。
- 各グループで考えた公園の将来イメージを一つの構想にまとめる話し合いをしました。



①将来イメージの「良いところ」をまとめていきます。



②改善案や新たな提案についてまとめていきます。



総合運動公園Aグループの発表です！



総合運動公園Bグループの発表です！



稲垣市長も出席されました



亀城公園Aグループの発表です！



亀城公園Bグループの発表です！



亀城公園Cグループの発表です！

総合運動公園 基本構想（案）

- 公園の将来像
だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも Sports in Life
- 公園の未来
 - 1) 多様な人が、いつでも手軽に体を動かせる公園機能が充実しています。
 - 2) 逢妻川緑地ではレクリエーション活動が楽しめ、公園北側ではニュースポーツなどが体験できます。
 - 3) 民間との連携により、朝から夜まで楽しめるスポーツライフを応援します。

リバーサイドエリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間を活かしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。
【イメージ】リバーサイドステーション（活動拠点+カフェ）／ライドアクティビティ／サイクリング／ウォーキング／BBQ など

エントランスエリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。
【イメージ】エントランスガーデン／レストラン・カフェ（飲食施設）／売店（コンビニ+スポーツ用品） など

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、誰でも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。
【イメージ】インクルーシブな遊具／水遊び場／プレイハウス（屋内遊具施設）／屋根付スポーツ広場（イベント広場）／ふわふわドーム など

+（プラス）スポーツエリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを体験できるエリアです。
【イメージ】ニュースポーツ／テニス／ソフトボール兼少年野球／センター施設（更衣室、スポーツ用品レンタル）など
※多目的グラウンド：ソフト・野球（少年）・テニスなど

アリーナ・スタジアム・エリア

スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。
【イメージ】バラスポーツ（ボッチャ・ゴールボール・シッティングバレーボール）／e-スポーツ など

亀城公園 基本構想（案）

- 公園の将来像
「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」シンボル公園
- 公園の未来
 - 1) 石垣・隅櫓・堀等を復元し、刈谷の歴史と文化をつなぐシンボルとなる公園に生まれ変わります。
 - 2) 四季の花や公園機能の充実により、一年中誰もが楽しめる公園になります。
 - 3) 地域・民間・行政の連携により、地域と密着した安心・安全な公園づくりが進められていきます。

歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具やイベントが開かれる広場、飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。
【イメージ】歴史体感広場（飲食・物販施設）／屋内遊戯施設／全世代が参加できる歴史イベント／歴史を感じるシンボル遊具／駐車場／駐輪場／歴史博物館／体育館・武道施設など

桜のみち

桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は、桜で彩られています。

刈谷城址・エリア

刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中誰もが楽しめるエリアです。
【イメージ】石垣・隅櫓・堀等の復元／庭園／四季の花／公園周辺の歴史スポットサイン／飲食・物販施設／遊具／バリアフリー化 など

講評/まとめ



瀬口先生から講評がありました。

●歴史的な価値の評価について

整備の評価に用いる費用対効果は、「便益÷コスト」の考え方で、例えば道路を整備した時に、どれだけ旅行時間が短くなったか、ということを経営することです。その考え方を、亀城公園の整備に適用できるか、歴史的な価値をどう評価しているのかを考えなければなりません。

●市民の歴史的な価値観

欧米人は、歴史的なものを大切にしますが、日本人は機能的なものが好きなので、壊して新しく作ると言われていいます。歴史的なものを長い目でみて、100年後にどうなっているかを考えていくことも必要です。

●採算性も考えた施設の配置

カフェを設置したいという意見が多くあります。名古屋市名城公園のカフェは、公園の入口にあるため、公園利用者だけではなく、いろいろな人が多く利用しています。お客さんが来るよう、採算性も考えて施設を整備することも考えることが大切です。

【第5回市民公園づくり会議開催】

8月6日（土）刈谷市役所 大会議室

10:00~12:00 3地域合同開催 ~5つの公園の将来ビジョンの発表会~
※新型コロナウイルス感染状況により、日程変更の可能性があります。ご了承ください。

～魅力あふれる公園づくり構想策定～ 市民公園づくり会議通信

【作成・発行】

刈谷市 都市政策部 公園緑地課
（株）オオバ名古屋支店 まちづくり部

開催概要 南部地域 フローラルガーデンよさみ

日時：令和4（2022）年6月25日（土）
13：00～15：00

会場：刈谷市総合文化センター 4階会議室

参加者：13名

（フローラルガーデンよさみグループ）

アドバイザー：名古屋市立大学名誉教授
瀬口哲夫先生



プログラム

【テーマ】

公園の“未来”をカタチに
～公園の将来ビジョンを描こう～

- 1.開会
- 2.オリエンテーション
(1) 前回のあらい
(2) みんなが考えた公園の将来イメージ
- 3.グループワーク
(1) これからの公園ビジョンを描く！
(これからの公園の“ビジョン（将来像）”を提案しよう)
- 4.グループ発表
- 5.総評/まとめ
- 6.閉会

オリエンテーション

瀬口先生あいさつ

「誰でも、いつでも」使える公園というみなさんの意見から、公園が特別な場所ではなく日常的な空間である、生活の中にある空間になって欲しいと思います。

「誰でも」とは、健常者も身障者も肌の色が違って、いっしょに遊ぶことができるということです。それは、複数の人で滑り台を共有できるような

インクルーシブ（包括的）遊具で感じることができます。「いつでも」というのは、雨の日こそ公園に行こう、ということです。公園に日陰を作って、暑いときには公園の方が涼しいというようになって欲しいです。

■市民公園づくり会議スケジュール

回数	日程	テーマ
第1回（合同開催）	12月18日（土）	PARK×LIFE ～公園とともにあるライフスタイルを考える～
第2回（地域別開催）	3月26日（土）	公園の“今”を考える ～公園の「良いところ」と「惜しいところ」～
第3回（地域別開催）	4月23日（土）	公園の“未来”を考える ～公園でできたら良いと思う「もの・こと」～
第4回（地域別開催）	6月25日（土）	公園の“未来”をカタチに ～公園の将来ビジョンを描こう～
第5回（合同開催）	8月6日（土） 予定	PARK×Vision（発表会） ～5つの公園の将来ビジョンを発表する～
出張アンケート	9月予定	将来ビジョンをパネル展示し、市民アンケート調査を実施
第6回（合同開催）	10月予定	PARK×Concept ～5つの公園の構想（案）のとりまとめ～

グループワーク ○これからの公園ビジョンを描く！

グループ発表 ○《みんなで考えた公園の将来イメージ》の発表

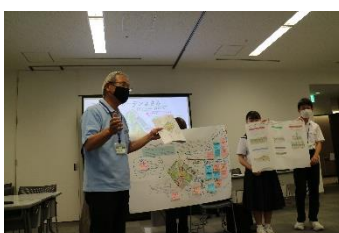
- 「公園の将来像」や「公園の未来」について話し合いました。
- 各公園のエリアごとの「利活用イメージ」について話し合いました。
- 《みんなで考えた公園の将来イメージ》としてグループごとに発表しました。
- 各グループで考えた公園の将来イメージを一つの構想にまとめる話し合いをしました。



①将来イメージの「良いところ」をまとめていきます。



②改善案や新たな提案についてまとめていきます。



フローラルガーデンよさみAグループの発表です！



フローラルガーデンよさみBグループの発表です！



フローラルガーデンよさみCグループの発表です！



瀬口先生の講評をお聞かせします。

フローラルガーデンよさみ 基本構想（案）

公園の将来像

みんなでつくり運営する、刈谷のよ・さ・み・りょく送信所！
（良さ＋魅力＝よさみ力）

公園の未来

- 1) 誰もが心身ともにリフレッシュできるイングリッシュガーデンが魅力です。
- 2) 依佐美送信所記念館で歴史を学び体験し、送信所から刈谷の魅力を発信しています。
- 3) 市民が安心できる居場所となるように、みんなで公園を育てています。



緑のみち

ミササガパークと刈谷駅とは緑のちでつながっています。
【イメージ】遊歩道／ベンチ／サイン整備 など

ジョギング・ウォーキングコース

目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコースです。
【イメージ】歩きやすい舗装／レーンの表示など

ガーデン・エリア

イングリッシュガーデンの充実を図り、誰もがリフレッシュできるエリアです。
【イメージ】イングリッシュガーデン／香りの庭／音の庭／色の庭／温室（サボテン）／カフェ など

あそびとつどい・エリア

遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリアです。
【イメージ】遊具広場／屋根付き広場／イベント広場 など

依佐美送信所・エリア

自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリアです。
【イメージ】高須の森づくり／記念館の展示の充実／ビオトープ／プレーパーク（自然の遊び場）／駐車場の増設 など

花の丘・エリア

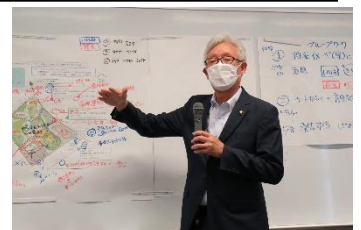
花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリアです。
【イメージ】花の回廊 など



参加者の方が、ミニチュアの依佐美送信所を製作してくださいました！



立ち上がった、指差ししたり、積極的な意見交換が続きました。



稲垣市長が、フローラルガーデンよさみの思い出をお話しされました。

講評/まとめ

瀬口先生から講評がありました。

●大きな夢を持ち続ける

SLは公園全体を走って欲しいと思います。夢は大きくもって、それに近づくときみな頑張るので、夢を大きくもって持続して欲しい。
夢は、粘り強く取り組むと実現できると思います。

●花のイングリッシュガーデン

花のイングリッシュガーデンは、評価が高くて良いと思います。花は、季節の移り変わりがあり、その間が大変です。裾野に常緑樹を植栽して、花がすべて咲き変わることを変化を考えてもらうと良いと思います。

●長期的なまちづくりの必要性

オランダの自治体は、予算化される前から長期的な視点を持って都市計画を進めています。
今回の計画は、大きく希望をもって、それに近づいていくような長期的なまちづくりのきっかけになると良いと思います。



【第5回市民公園づくり会議開催】

8月6日（土）刈谷市 大会議室

10：00～12：00 3地域合同開催

～5つの公園の将来ビジョンの発表会～

※新型コロナウイルス感染状況により、日程変更の可能性があります。
ご了承ください。

～魅力あふれる公園づくり構想策定～ 市民公園づくり会議通信

【作成・発行】

刈谷市 都市政策部 公園緑地課
（株）オオバ名古屋支店 まちづくり部